



愛知環境賞 優秀賞

手羽先サミット®実行委員会

食のイベント「手羽先サミット®」における
ごみ削減・リサイクルの推進

連絡先

手羽先サミット®実行委員会 <https://tebasaki-summit.jp>
名古屋市熱田区金山町1-16-9つくばビル3F 052-710-7110



受賞のポイント

食のイベントにおいて、出展者、協力会社・団体と一体となつてごみの削減・リサイクルを推進するとともに、インフルエンサーによる環境学習プログラムの普及による環境意識の向上を図る取組は、持続可能な社会の形成に大きく貢献するものと評価された。



概要

- ◆名古屋が発祥とされる「手羽先」を自慢とする店を全国から名古屋に集結し、その味と創作を競い合い、手羽先文化の発展と地域活性化を目的とする東海地区最大級の食のイベント「手羽先サミット®」は、2023年に9回目を迎えた。
- ◆これまで、イベント開催時に発生する手羽骨などの食品残さ、廃食油、容器などのごみ処理は、大きな課題となっていた。
- ◆そこで、実行委員会に環境部を発足させ、出展者や協力会社・団体と一体となつて、食品残さの堆肥化、廃食油の再資源化、環境に配慮した容器の使用など、ごみの削減・リサイクルを推進するとともに、楽しみながら環境について学べるプログラムを企画・実践することで来場者への環境意識の向上にも貢献している。



手羽先サミット®の様子

先駆性・独創性

- ◆出展者や協力会社・団体と一体となつてごみの削減・リサイクルを推進している。
- ◆来場者、ボランティアが、楽しみながら主体的にごみ削減・リサイクルに取り組むプログラムを企画・実践している。
- ◆総フォロワー数200万人以上のインフルエンサーや若者が中心となつて、SNSを活用し情報を発信することで、多くの人が参加し、環境を学ぶ機会を提供している。

食のイベント「手羽先サミット®」におけるごみ削減・リサイクルの推進

ごみ削減対策



徹底した分別回収、環境配慮した容器の導入

- 徹底した資源分別回収
- 環境配慮した資材の導入
- 天然素材から作られた生分解性食品容器の使用
- コンポスト導入と生分解性の科学的検証

■協力企業・団体
株式会社折兼
株式会社知多環境研究所

会場内で排出されたごみを再資源化



フードサイクリングの様子

- 紙類、段ボールなどを再生紙にし、会場内で翌年利用
- 食品残さを堆肥化し、野菜作りや緑化に使用
- 使用済み食用油を発電燃料等として再資源化

■協力企業・団体
ナガイホールディングス株式会社

楽しく学べるプログラムの開発



イベントの様子

- ジョギングしながらゴミ拾いする「プロギング」の開発
- ごみ分別ゲーム「ぷよそうじ」の開発
- インフルエンサーやYou Tubeによるフードロス企画、発信

■協力企業・団体
一般社団法人海と日本プロジェクトin愛知県
株式会社セガ
株式会社sery

啓発効果

- ◆投票による手羽先グランプリを決定するだけでなく、環境配慮した出展者への環境大賞も2023年に設置
- ◆出展者と参加者がともに環境問題に取り組む場となっており、店舗から排出されるごみの量が年々削減
⇒約760kgのCO₂排出量削減

ごみ排出量

2021年：5,300kg

2022年：4,468kg

2023年：3,343kg